

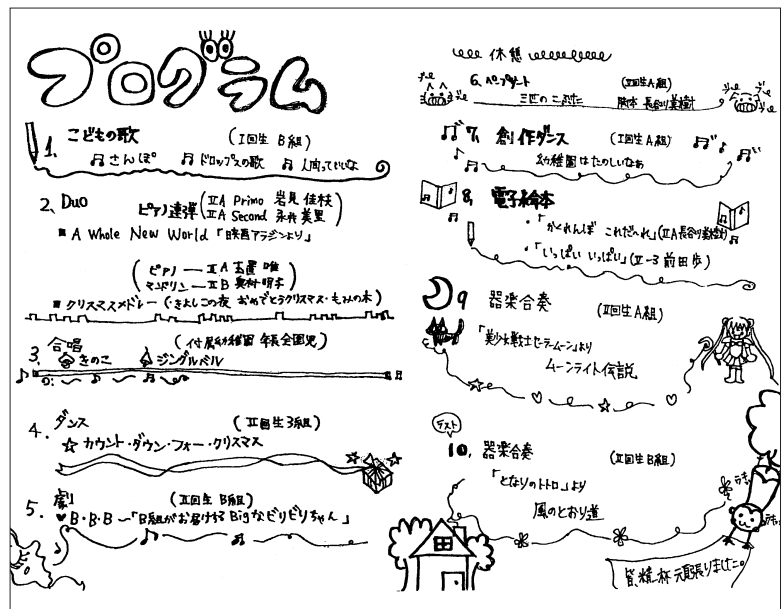
器楽合奏による表現指導の実践例

(2007年度)

幼児教育学科 末吉 加代子

本学では音楽表現の一分野として器楽合奏の授業を行なっている。合奏は相互の音楽の役割分担によって成立するものであり、表現意欲を高めると共に仲間意識や社会性を育てるのに優れた活動である。学生には楽器の演奏法や合奏の指導法を学習することも大切であるが、仲間と共に音楽を創造していく過程においてアンサンブルの楽しさを感じ、完成させた時の喜びや達成感を味わい感動を体験することこそ必要であると考えている。そのためにも毎年、幼児教育学科のフェスティバルにおいて発表する目標を設け、より完成度の高い合奏を目指し努力させるようにしている。

「風の通り道」は平成18年度第30回幼児教育学科フェスティバルにてII回生幼児教育学科Bクラスの発表した作品であり、選曲はBクラスの合意で決定された。楽譜は合奏譜ではなくピアノ連弾用のものを使用して、クラスの状況や学校の備品を考慮に入れて創作したものである。



2006年幼児教育学科フェスティバルプログラム

Handwritten musical score for piano, consisting of four systems of two staves each. The notation includes various rhythmic values, accidentals, and performance markings.

System 1: The first system begins with the handwritten text "top 1. y口" above the first staff. The music features a complex rhythmic pattern with eighth and sixteenth notes. A "3va" marking is present above the first staff in the second measure. The second staff contains a triplet of eighth notes marked with a "3" below it.

System 2: The second system continues the melodic and harmonic development. A triplet of eighth notes is marked with a "3" below it in the second measure. The notation includes slurs and various note values.

System 3: The third system features a prominent "8va" marking above the first staff, indicating an octave shift. The music consists of a series of eighth notes, some with slurs, creating a flowing texture.

System 4: The fourth system shows a continuation of the eighth-note patterns. It includes a "6" marking below the first staff in the first measure, likely indicating a sixteenth-note group. The system concludes with a double bar line and a final chord structure.

♩ = 80

A

1. 2.

ピアノ

鉄琴

マリンバ

サリハ

クラリネット

山木鼓

大太鼓

コンパニオン
(ササ)

バス

キーボード

ピアノ

國のとおり道

作曲：久石譲 ピアノアレンジ：黒田公紀

1. 80

©1994, 2008 NIPPON INC.

國のとおり道

作曲：久石譲 ピアノアレンジ：黒田公紀

1. 80

©1994, 2008 NIPPON INC.

B

Handwritten musical score for a band, featuring multiple staves for various instruments. The score is written in a key with two flats (B-flat and E-flat) and a 4/4 time signature. The instruments and their parts are as follows:

- トロンボーン (Trombone): Melodic line with eighth and sixteenth notes.
- サックス (Saxophone): Melodic line with eighth and sixteenth notes.
- ピアノ (Piano): Chordal accompaniment with eighth and sixteenth notes.
- ホルン I (Horn I): Melodic line with eighth and sixteenth notes.
- ホルン II (Horn II): Melodic line with eighth and sixteenth notes.
- クラリネット (Clarinet): Melodic line with eighth and sixteenth notes.
- 小太鼓 (Shōtaiko): Rhythmic pattern with eighth notes.
- 大太鼓 (Ōtaiko): Rhythmic pattern with eighth notes.
- 手拍子 (Tepaizi): Rhythmic pattern with eighth notes.
- バスドラム (Bass Drum): Rhythmic pattern with eighth notes.
- トパー (Tōpa): Melodic line with eighth and sixteenth notes.

The score consists of 12 measures, ending with a double bar line and repeat signs. The notation includes various note values, rests, and dynamic markings.

C

トロンボーン

サックス

鉄琴

マリンバ I

マリンバ II

タンゴス

小太鼓

大太鼓

ドラムセット

ピアノ

D
8

トロンボーン
 トロンボーン
 ピアノ
 トロンボーンII
 トロンボーンII
 小太鼓
 大太鼓
 バス
 バス
 バス
 バス

Handwritten musical score for a band ensemble. The score includes parts for Trumpet (トロンボーン), Trombone (トロンボーン), Horns (ホルン), Saxophone (サクソフォーン), Drums (ドラム), Bass (ベース), and Piano (ピアノ). The music is in 4/4 time with a key signature of two flats. A first ending bracket is present at the beginning of the piece, and a "D.S. al Fine" marking is at the end. The score is written on ten staves with various musical notations including notes, rests, and dynamic markings.

Handwritten musical score for a band. The score is written on ten staves. The instruments listed on the left are:

- トロンボーン (Trombone)
- ホルン (Horn)
- ピアノ (Piano)
- サックス (Saxophone)
- ベース (Bass)
- ドラム (Drum)
- パーカッション (Percussion)
- ギター (Guitar)
- キーボード (Keyboard)

The score includes various musical notations such as notes, rests, and dynamic markings. A circled number '4' is present at the top left of the first staff.

Printed musical score for piano, consisting of two columns of staves. The left column contains six systems of staves, and the right column contains six systems of staves. The notation includes complex piano textures with multiple voices and dynamic markings.

フェスティバルでの演奏を終えて

「風のとおり道」はアニメ（となりのトトロ）の挿入歌で、久石譲氏の作曲である。氏の作風は個性的で民族的なリズムや和声が魅力的であるが、更に熱田公紀氏のピアノアレンジにより複雑で重厚さを増し素晴らしい編曲に成っている。ピアノ曲として当然のことながら、演奏技量を発揮させる箇所が多く、学生にとって複雑なリズムや和音の理解と共に楽器の演奏も困難なものであった。練習時、学生は自らの選曲にも関らず「選曲が悪い」「フェスティバルに出ない」などと、放棄しかねない状況に陥ったことも度々あり指導に大変悩まされた。そこで、作曲者の意図など全く無視して複雑な和音の簡略化や演奏困難なリズム変更、演奏パート変更を繰り返した。また演奏困難であるが、どうしても表現したいパートはピアノの得意な山本有香さんの独奏を挿入することにより楽譜の方は切り抜けることができた。しかし、この曲は情感豊かなこともありテンポが変化に富み、常にフェルマータ（停止記号）が在るため十分に歌うことや息を合わせること等大変難しい曲である。非常に簡略化してしまった合奏で、まとまりに欠けるBクラスに果たして良い演奏ができるのかどうか心配したが、指揮をしてくれたBクラスのボスの存在の池田佳央梨さんが、この曲の美しさや魅力を十分に引き出してくれた。彼女は音楽好きであるが、読譜やピアノの練習が苦手である。しかし持ち前の統率力と度胸、歌う力により曲想をよく理解してスケールの大きい伸びやかな表現をしてくれた。また前奏（96頁）は合奏が大体仕上がった段階で思いつきにより付け足すことにした。「即興的に『風』を自由に表現しては如何でしょうか？」との問いかけに何時も合奏練習から逃げていた学生まで大変熱心な工夫を考えてくれた。（前奏譜は楽器を自由に使った即興的な表現であるため楽譜はイメージ譜である。）

さすがに普段怠け者の学生もフェスティバルが迫ってくると自主的に時間を見つけてパート練習や重奏練習を繰り返す姿をよく見かける。利己的な学生の多いクラスであるが、確かに協調性が育ってきたように思える。フェスティバル当日は、まだまだ練習不足で不揃いの箇所もあり「とても良い演奏であった」とは言えないが、クラス全員がまとまって懸命に合奏している姿や失敗して落胆している学生の姿に感動を覚えた。このような合奏体験は幼児教育現場と直接関係ないように思えるが、合奏表現で得られる感動や協調性は今後の人生を心豊かにしてくれるものである。彼女たちが保育現場において子どもたちの自由で柔らかな発想や表現を大切に育て伸ばすことができるような保育士に成長して欲しい。

器楽合奏は学生生活の中でこそできる貴重な体験であり、音楽的な資質のみならず人格的資質の向上に大きな役割を果たすものであることを実感した。



2006年幼児教育学科フェスティバルプログラムⅡ幼Bクラスの演奏風景

引用楽譜

スタジオジブリ インデュオVol.2

ピアノアレンジ 熱田公紀

発行所 株式会社ヤマハミュージックメディア

